

三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 25 年 12 月 16 日

上海デスク 鈴木 正治

(上海納克名南企業管理諮詢有限公司
董事・総経理)

Windows XP のサポート終了問題

マイクロソフト社は、2014 年 4 月 9 日を以って Windows XP 及び Office2003 の製品サポートを終了することを既に発表しています。

製品サポート終了後は、各メーカーからの必要なサポートが提供されない可能性があるため、業務に影響するさまざまなリスクが考えられます。

そのため日本の各企業においては、その対応として新 OS (Windows7 or 8) から Office ソフトまで、快適にパソコンを使用するため、最新のデスクトップ環境への移行を十分に検討していることと思われま

す。中国においてもこれは例外的なことではなく、進出する日系企業においても、検討している現地法人は多いかと思われま

すが、日本と比較してあまり興味のない中国人が多いように見受けられます。海賊版ソフトが多い中国では、最新の Windows 8 海賊版の普及がまたたく間に広まっているのかと思いきや、いまだに Windows XP の使用率は 3 分の 2 とも言われ、(日本は 3 分の 1 程度)、世界で最も Windows XP の使用率が高い国とされています。

そればかりか、Windows XP 2013 というバージョンの海賊版が勝手にリリースされており、全く Windows XP の人気は衰えていません。

ソフトの多くが無料という環境の中、高いものやブランド力を優先するのではなく、自分にとって一番使用しやすいものを常に選択し、その結果として Windows 7 でもなく、Windows 8 でもなく、新しいパソコンを購入しても、いまだに使いやすいという理由で Windows XP を搭載しています。

さらに、奇虎 (qihoo) 360 というベンダーは、マイクロソフト社がサポートを終了するのであれば自分たちがセキュリティベンダーになると立ち上がり、Windows XP からの移行どころか、Windows XP の継続使用を後押ししている会社も存在しています。

こういった会社が出てくると、顧客獲得のためシェア争いに負けないよう、他のベンダーがこれに追随してきてしまうことが懸念されます。

既にサポートが終了している Internet Explorer 6 が、軽いのがベストという理由でいまだに中国では人気があるだけに、Windows XP からの移行は全く進まないことが予測されます。

進出日系企業の駐在員の方や親会社の皆様は、現地の事情を一度確認のうえ、**Windows XP**からの移行について、ぜひとも検討して頂くとともに、この機会に、偽物ソフトを使用するリスクについて、現地スタッフへの教育を徹底してみてはいかがでしょうか。

また、これから中国に進出を予定する企業の皆様も、情報を多く取り扱うパソコンから顧客情報などが漏れて被害を被ることがないように、コストが安いからという理由で、偽物に頼ることが無いようにしてください。